

# ■ウレタン吹付部の火気厳禁見える化



火気厳禁掲示状況

第46回 技術並びに経営合理化研究会 解説報告 ウレタンの性質及び火災事故事例報告

### ウレタンの燃焼の状況

天井  
ウレタン

天井  
ウレタン  
揮発性ガス発生

約200°Cでガス発生

加熱

天井  
ウレタン  
揮発性ガス発生

310°Cでガス着火=引火

天井面に沿って爆発的に燃焼

有毒な煙、ススが多量に発生

第46回 技術並びに経営合理化研究会 解説報告 ウレタンの性質及び火災事故事例報告

### ウレタン火災事故の主原因

① 軽鉄骨仕切組立作業  
天井下地組立作業

② 天井ボルト取付作業  
設備機器取付作業  
キャットウォーク取付作業

③ 建具取付作業

④ ビット内作業

⑤ 鉄骨鉄筋の溶接溶断作業

工事中の断熱材火災の出火原因

溶接・切断・溶断作業 54%

電気設備機器 10%

パワーツール類 33%

その他 3%

平成10年東京消防庁データより

ウレタン吹付け後の溶接・切断・溶断作業が最も多い

第46回 技術並びに経営合理化研究会 解説報告 ウレタンの性質及び火災事故事例報告

### 施工時の確認

作業場所周辺にウレタンがないか

1. 火気を使用する部屋の内部を点検
2. 火気を使用する部屋の裏側も点検

開口部からの火花落下の防止

3. 床開口下の状況を点検
4. 吹き抜け下部の状況を点検

第46回 技術並びに経営合理化研究会 解説報告 ウレタンの性質及び火災事故事例報告

### 出火作業例

開口(補強)の変更、溶接忘れ

アンカー鉄筋の位置変更、長さ不足

二重壁がウレタン吹付の後工程

床開口下の状況確認不足

掲示内容